

第28回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成9年8月6日（水）
14:00～16:00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題
 - (1) 前回議事要旨の確認
 - (2) 通信放送技術衛星「かけはし」(COMETS)の打上げ時期について
 - (3) 平成10年度宇宙開発関係経費の見積り方針について
 - (4) ADEOS運用停止に係る利用者グループからの提言について
4. 資 料
 - 委28-1 第27回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 - 委28-2 通信放送技術衛星「かけはし」(COMETS)の打上げ時期について
 - 委28-3-1 計画調整部会審議結果
 - 委28-3-2 平成10年度における宇宙開発関係経費の見積り方針（案）
 - 委28-4-1 ADEOS運用停止に伴う今後の対応策－これまでの科学的成果の評価と今後に向けての提案－
 - 委28-4-2 実利用分野におけるADEOS成果の評価と今後の対応に向けての提案（中間報告）（概要）
 - 委28-4-3 実利用分野におけるADEOS成果の評価と今後の対応に向けての提案（中間報告）

委28-1

第27回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年7月30日（水）
 14:00～16:10
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) Mars Pathfinderミッションについて
 (3) 国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針について
 (4) 放送衛星3号-b（BS-3b）の姿勢異常について
 (5) 第一次微小重力科学実験室（MSL-1R）の実施状況について
4. 資料 委27-1 第26回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委27-2 The Mars Pathfinder Missionについて
 委27-3-1 国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針（案）（概要）
 委27-3-2 国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針に関する意見
 委27-4 放送衛星3号-b（BS-3b）の姿勢異常について
 委27-5 第一次微小重力科学実験室再飛行計画（MSL-1R）の実施状況について（報告）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	山 口 開 生
宇宙開発委員会委員	末 松 安 晴
〃	長 柄 喜一郎
〃	秋 葉 鏢二郎

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）	中 西 釦 治（代理）
通商産業省機械情報産業局次長	河 野 博 文（〃）
郵政大臣官房技術総括審議官	甕 昭 男（〃）

事務局

科学技術庁長官官房審議官	大 熊 健 司
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第26回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委27-1）が確認された。

(2) Mars Pathfinderミッションについて

文部省宇宙科学研究所 水谷教授より、資料委27-2に基づき、7月4日に火星に到着した米国の火星探査衛星Mars Pathfinderのミッションについて説明があった。

これに関し、委員より、Discovery計画について大学等からのミッションの公募の有無及び今後の火星探査の予定、Mars Pathfinder開発経費の概要、Mars Pathfinderの取得するデータから期待される成果、NASAの火星に関するインターネット情報へのアクセス状況等について質問があった。

(3) 国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針について

科学技術庁科学技術政策局 坂田計画課長より、資料委27-3-1、委27-3-2に基づき、科学技術会議において審議が行われていた「国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針（案）」について説明があった。

これに関し、委員より、「評価実施主体による評価」と「研究開発を実施する主体から独立した組織による評価」の意味、メガサイエンスの評価方法、国立試験研究機関、大学、特殊法人それぞれの評価方法の相違点、「第三者による評価」の定義、評価を行うための予算等環境整備体制、評価者に対する評価の在り方、評価結果のまとめ方等について質問があった。また、航空宇宙技術研究所、宇宙開発事業団、宇宙科学研究所の3機関については、各種の協力により開発体制がかなり複雑になっているため、外部評価を行う前に内部での十分な評価を行うことを検討する必要があること、評価の透明性をはかるとともに、かつ評価の結果を踏まえた成果の啓蒙活動も重要であること、宇宙開発委員会としても本指針の趣旨を踏まえ、今後の活動に活かしていきたいこと等の発言があった。

(4) 放送衛星3号-b (BS-3b) の姿勢異常について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部衛星システム技術部 森河部長及び通信放送機構君津衛星管制センター川口放送衛星部 渡辺部長より、資料委27-4に基づき、平成9年6月30日に発生した放送衛星3号-b (BS-3b) の放送中断事象の原因究明結果について、経緯、推定原因、今後の運用等の説明があった。

これに関し、委員より、地球センサ1系 (ESA1) のランダム故障の意味、BS-3Nの運用状況等について質問があった。

(5) 第一次微小重力科学実験室 (MSL-1R) の実施状況について

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部宇宙実験グループ 高松総括開発部員より、資料委27-5に基づき、平成9年7月1日に打ち上げられたス

スペースシャトルにて実施された第一次微小重力科学実験室再飛行計画（MSL-1R）について、宇宙開発事業団の大型均熱炉による実験の結果、今後の予定等の説明があった。

これに関し、委員より、大型均熱炉の回収手順、今後のスペースラブの利用計画等について質問があった。

以上